

平成5年度大学情報提供事業について

はじめに

大学入学志願者による大学の選択が偏差値情報に過度に依存したり、大学に関する一面的な情報に依存して行われている状況が見られ、これを改善するため、大学入学志願者や高等学校等に大学の教育・研究の内容等に関する正確で質の高い情報を提供するための体制の整備が要請されている。

このような要請を背景に、大学入試センターは、昭和63年度から新たに「大学入学志願者の進路選択に資するための大学に関する情報の提供」の業務を行っている。

1 ハートシステムによる大学進学案内について

昭和63年10月からNTTのキャプテン通信網を通じて、大学情報の提供を開始した。

この進学案内は、大学入試センターが全国531の国公私立大学の協力を得て収集した進学に係る大学情報をデータベース化することにより、大学入学志願者や高等学校の進路指導担当教員がキャプテン通信網を通じて、個々の大学の教育研究に関する情報の入手は

もとより、志望する学部・学科等が全国どの大学に設置されているかなどの情報を即時に知ることができるシステムである。

(1) ハートシステムの構成について
ハートシステムは、①志望大学の選択、②大学案内、③ハート速報、④入試案内、⑤編入学情報の5つのメニューで提供している。

(2) 提供内容の改善について
① 個々の大学の教育研究内容等を体系的に整理して提供している「大学案内」について、10月1日に一括更新して提供している。

② 「入学者選抜方法」及び「編入学情報」を、速報性をもたせ隨時に提供している。
③ 「大学からのお知らせ」の中で『大学改革の状況』を平成5年10月1日から、新たに提供している。

(3) ハートシステムの普及について
① 大学入試センター試験説明協議会、都道府県・指定都市教育委員会進路指導主事研究協議会、全国高等学校長協会大学入試研究協議会等の機会を利用して、ハートシステムの端末機等設置の推進について要望し

た。

② 利用者の一層の拡大を図るため、高等学校卒業者や社会人等が利用できる全国の図書館などに対して、端

末機等の設置について要望した。
(69公共図書館等にキャプテン端末導入)

【ハートシステムの高等学校への導入状況及び利用状況】

ア 高等学校への導入状況

平成6年2月現在 1,280校 (全高校6,003校に対する導入率21.3%)
〔地区別導入校内訳〕 平成6年2月現在

区分	北海道	東北	関東 甲信越	東海 陸	近畿	中國 四国	九州 沖縄
導入校	24校	102校	352校	187校	168校	227校	220校
導入率	6.7%	17.8%	18.3%	23.4%	19.1%	32.7%	28.2%

イ 利用状況

() 内は、平成4年度

月	4	5	6	7	8	9	
利用画面数	延べ (303,356)	357,489 (350,127)	420,560 (389,421)	477,042 (413,936)	467,295 (406,304)	499,813 (501,955)	
平均	11,916 (10,112)	13,566 (11,294)	15,901 (12,981)	15,074 (13,353)	16,123 (13,107)	18,059 (16,732)	
	10	11	12	1	2	3	合計
	526,578 (611,812)	407,518 (435,214)	313,350 (382,841)	384,536 (430,366)	241,375 (273,978)		4,637,320 (4,728,867)
	16,986 (19,736)	13,584 (14,507)	10,108 (12,350)	12,404 (13,883)	8,621 (9,785)		13,884 (7,405)
							(12,956)

注: 利用画面数は、アクセスした全てのメニューの画面数であり、平均利用画面数は、その月の日数で除した値である。

2 「国公立大学ガイドブック」の発行について

高等学校の進路指導や大学入学志願者の大学・学部の選定に役立てるため、各國公立大学の特色、沿革、概要、個別学力検査等の概要などを紹介したガイドブックを刊行している。

平成6年度版は、「大学案内編」と「入学者選抜方法編」に分冊し、利用効果を高めるため発行時期を早めて「大学案内編」を8月10日、「入学者選抜方法編」を9月16日にA4判で刊行し、全国の高等学校へ配付した。

(発行部数:「大学案内編」12,000部、「入学者選抜方法編」8,400部)

区)

主催: 大学入試センター

後援: 宮城県教育委員会

協力: 宮城県高等学校長協会、宮城県高等学校進路指導研究会、宮城県内の全大学

◇参加者 132名 (高等学校74校、大学13校等)

◇講演 「東欧の解体とE C統合について—世紀末のヨーロッパ」

東京大学教養学部教授
長尾 龍一

◇大学入試センター研究開発部研究の紹介 「大学の各専門分野の進学適性について」

大学入試センター研究開発部
教授 柳井 晴夫

◇意見交換 「大学の教育内容について」

大学と高校の抱える問題、大学教育全般について、大学改革について等。

(パネリスト 大学側10名、高等学校側2名)

【鹿児島県】

◇期日等 平成5年10月6日(火)
午前10時~午後4時

会場:ステーションホテル・ニューカゴシマ(鹿児島市中央町)

3 「大学ガイダンスセミナー」の開催について

大学入学志願者の志望・適性等に応じた適切な進路指導に資するため、大学の教育研究内容の現状と展望等について、講演・シンポジウム・パネルディスカッション等直接的な方法で紹介し、大学関係者と高等学校関係者との直接のコミュニケーションを図るために、「大学ガイダンスセミナー」を開催している。

平成5年度は次の6地区で開催した。
〔東北地区〕

◇期日等 平成5年9月28日(火)
午前10時~午後3時40分
会場:勾当台会館(仙台市青葉町)

主催：大学入試センター

後援：鹿児島県教育委員会

協力：鹿児島県高等学校長協会、

鹿児島県高等学校進路指導

研究協議会、鹿児島県内の

全大学

◇参加者 159名（高等学校84校、大
学11校等）

◇講演1 「宇宙と薩摩、宇宙人と薩
摩人」

鹿児島大学教養部教授

森本 雅樹

講演2 「200X年の日本語はどう
なるか？」

筑波大学文芸・言語学系助

教授 城生伯太郎

◇意見交換「大学の教育内容について」
大学教育と高校教育の抱え
る問題、大学教育について、
大学改革について、卒業後
の進路等について等。

（パネリスト 大学側5名、
高等学校側2名）

〔静岡県〕

◇期日等 平成5年9月10日(金)

午前10時～午後4時30分

会場：静岡県職員会館（もくせい
会館）富士ホール（静岡市
鷹匠）

主催：静岡県大学ガイダンスセミ
ナー実施委員会
(静岡県内の全大学、静岡

県高等学校長協会、静岡県
私学協会で構成）

大学入試センター

後援：静岡県教育委員会

◇参加者 163名（高等学校86校、大
学7校等）

◇講演 「変動する世界の中のアジ
アと日本」

静岡県立大学国際関係学部
教授 金 兩基

◇意見交換「大学の教育研究内容につ
いて」

『文系セミナー』
(パネリスト 大学側5名、
高等学校側2名)

『理系セミナー』
(パネリスト 大学側6名、
高等学校側2名)

〔岡山県〕

◇期日等 平成5年8月3日(火)

午前10時～午後4時

会場：岡山大学大学院自然科学研究
科大講義室（岡山市津島中）

主催：岡山県大学ガイダンスセミ
ナー連絡協議会

（岡山県内の全大学、岡山
県教育委員会、岡山県高等
学校長協会で構成）

大学入試センター

◇参加者 162名（高等学校52校、大
学12校等）

◇講演1 「文学と科学」
ノートルダム清心女子大学
文学部教授 磯貝 英夫

講演2 「新しい地球環境時代に向
けて」

東京工業大学炭素循環素材
研究センター教授 玉浦
裕

◇意見交換「大学の教育内容につい
て」

大学教育一般、国際・情
報・福祉に関する学科と芸
術系学科について、理科系
学生の将来の展望について
等。

（パネリスト 大学側11名、
高等学校側3名）

〔山口県〕

◇期日等 平成5年6月15日(火)

午前10時～午後4時20分
会場：下関市立大学B講義棟（下
関市大学町）

主催：山口県大学ガイダンスセミ
ナー実行委員会（県内の大
学等で構成）

大学入試センター
後援：山口県教育委員会、山口県
高等学校長協会、山口県、
徳山市、山口市、宇部市、
下関市

◇参加者 103名（高等学校35校、大
学6校等）

◇講演1 「大学改革の現状」
広島大学大学教育研究セン
ター長 有本 章

講演2 「文学部とは—その現状と
展望」

梅光女学院大学長 佐藤
泰正
「医学の研究の現状と将来
展望」

山口大学医学部教授 芳原
達也

◇意見交換「変わりつつある大学」
大学改革について、大学と
して望ましい学生とは等。
(パネリスト 大学側7
名)

〔長崎県〕

◇期日等 平成5年10月29日(金)
午前10時～午後4時

会場：長崎県医師会館大講堂（長
崎市茂里町）

主催：長崎県大学ガイダンスセミ
ナー実施委員会

（長崎県内の全大学、長崎県
教育委員会、長崎県高等学
校長協会、長崎県高等学
校長指導研究協議会で構成）

大学入試センター
◇参加者 135名（高等学校39校、大
学3校等）

◇講演1 「教育学部の現状と今後の
展望」

長崎大学教育学部教授
玉利 正人
講演2 「境界領域の学問の楽しみ方」
帯広畜産大学畜产学部教授
中野 益男
◇意見交換「大学教育の現状及び将来計画について」
大学改革について、大学入学試験について等。
(パネリスト 大学側4名、高等学校側2名)

4 「大学入学広報セミナー」の開催について

大学の入学広報担当者等を対象に、大学における情報提供の必要性の周知と情報提供の質的な向上を図ることを目的として開催した。

◇期日等 平成5年9月21日(火)
午前10時30分～午後4時
会場：有楽町朝日ホール（東京都千代田区）

◇参加者 388名（271大学等）

◇講 演 「顔の見える大学を目指して」

東京大学教育学部教授
天野 郁夫

◇シンポジウム

(問題提起)「大学入学広報の問題点」

関西大学大学事務局長
北田 清士
(討論)「いま、何を広報するのか？」
司会 永井 順國（読売新聞社論説委員）
野沢 和範（武蔵工業大学入試課長）
河内 瞳明（近畿大学入試事務部課長）
松原 典宏（日本文理大学工学部教授）
松田 駿晃（北海道札幌南高等学校教諭）
牧島 勝利（栃木県立宇都宮高等学校教諭）

5 「進学情報サービス室」の設置について

各国公私立大学の協力を得て収集した大学案内、履修要項、募集要項などの最新の資料を整理・展示し、大学入学志願者や高等学校の進路指導担当教員等が直接閲覧したり、大学紹介ビデオやハートシステムを利用できる「進学情報サービス室」を設置している。平成5年度は、大阪教育大学天王寺キャンパス内及び名古屋大学広報プラザ内の2ヶ所に開設した。

○ 大分進学情報サービス室
大分大学 本部内（平成3年11月28日開設）

- 北海道進学情報サービス室
北海道大学百年記念会館内（平成4年7月1日開設）
- 大阪進学情報サービス室
大阪教育大学天王寺キャンパス内
- 名古屋進学情報サービス室
名古屋大学広報プラザ内（平成5年9月14日開設）

【進学情報サービス室の利用状況】

(平成6年2月現在)

室名	高校教員	高校生	高校卒業	大学生	その他	計
北海道	47	450	753	311	359	1,920人 (1日平均4.7)
名古屋	62	209	58	455	906	1,690人 (1日平均13.5)
大阪	54	484	159	39	243	979人 (1日平均6.2)
大分	53	511	55	155	370	1,144人 (1日平均2.1)

6 「HEARTニュース」(大学入試センター広報)の発行について

主として高等学校進路指導担当教員等を対象に、大学情報提供事業についての最新の情報を提供することを目的とした定期刊行物で、全国の高等学校、教育委員会、大学等に配付している。

(年4回程度発行)

平成5年度は第8号、第9号、第10号を発行し、全国の高等学校等に配付した。

7 「大学情報の利用状況等に関するモニター調査」について

大学情報提供事業を効果的に実施するため、各県ごとに数校（計120校）

の高等学校を「モニター調査協力校」として依頼し、大学情報の利用状況、高等学校のニーズ等に関して、モニターミーティング（9月9日静岡市、9月29日仙台市、10月7日鹿児島市）及びアンケート調査（平成6年1月）を実施した。

8 「平成5年度大学進学情報一覧」の発行について（新規事業）

全国の国公私立大学で作成している入学広報資料等を、進路志願者や高校の進路指導担当者が、請求又は閲覧し易いように編集した「何處に何がある大学進学情報一覧－ひと目でわかる広報資料の所在と入手法－」を10月15日に発行し、全国の高等学校に配付した。